

# TOWN

## 高橋さんが延岡の海を案内

異潮の影響を受ける延岡の海は、温帯と亜熱帯の魚やサンゴが楽しめる絶好のダイビングスポットとして知られている。新型コロナウイルスの影響で閉塞(へいそく)感が漂う日々。癒やしを求め、NPO法人ひむか感動体験ワールド理事長でダイビングショップ「延岡マリンスー

### 癒やしの写真館

#### 海中散歩①

ス(延岡市川島町)の高橋勝栄代表(左)に海中を案内してもらった。

日の光が溶け込む海中は鮮やかな青に染まる。岩礁を回り込むと、ダイバーの目の前に小魚の群れが現れる。全長8センチほどのネンブツダイ(ナンジンダイ科)

#### ネンブツダイ

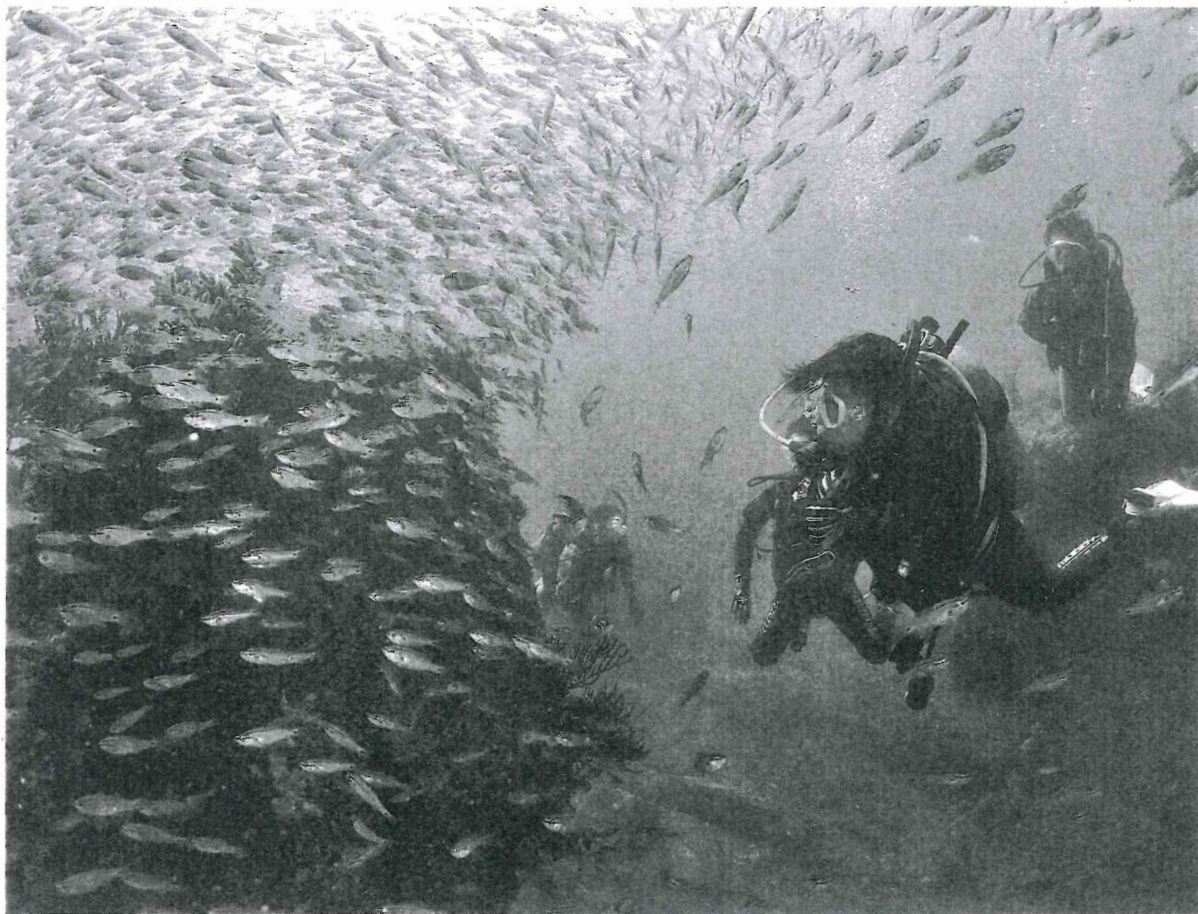
だ。赤い絵の具を水で薄く溶いたような透き通る色。その見た目から「キンギョ」と呼ぶ釣り人もいる。

内湾性で水深100メートルまでの岩礁域にすむ。近海ではそれほど珍しくないが、これが数千、数万匹の群れとなれば圧巻。絶えず形を変えながら泳ぐ様子は思わず息をのむ美しさだ。

目を横切る黒い縦帯はえらぶたの後で終わる。よく似たクロホシイモチにはこれがなく、動きや泳ぎ方も異なる。同じくらいの群れならネンブツダイの方がいい「絵」になる。



高橋勝栄さん



ダイバーを取り囲む小さなナンジンダイの群。息をのむほど美しい(延岡マリンスーツ提供)